

近畿中央呼吸器センターに入院・通院中の患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、カルテに記載された情報を収集してまとめることによって行いますが、患者さんの個人情報については配慮しながら行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] CAM 耐性肺 MAC 症に対する当院での加療、治療効果に関する後方視的検討

[研究の目的] 肺非結核性抗酸菌症はわが国で増加しつつある呼吸器疾患です。その中でもっとも多いのが肺 *M. avium* complex 症（肺 MAC 症）ですが、その治療にあたって重要な薬剤がクラリスロマイシン（CAM）です。当院での CAM に耐性を示した肺 MAC 症に対する、臨床的特徴、治療法、治療効果に関して調べることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2010年8月から2018年6月の期間に近畿中央呼吸器センターでCAM耐性の肺MAC症と診断され、治療を3カ月以上行い、半年間以上当院で通院した患者さんが対象です。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、菌の種類、BMI、血液検査結果、治療法、治療効果などを利用して頂きます。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。情報は研究代表者をはじめとした当院の共同研究者のみで共有します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡には申し訳ありませんが対応できません。

[問い合わせ先]

大阪府堺市北区長曾根町1180番地

近畿中央呼吸器センター 内科医 足立 雄一、感染症研究部長 露口一成

電話 072-252-3021 FAX 072-251-1372